

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
(著書(欧文)) 1.				
(著書(和文)) 1. ロマン派の石版画	共著	1981年11月	岩崎美術社	画家安野光雅氏がパリの蚤の市で購入した約80枚の石版画について文献にて調査し、19世紀フランスにおいて文化財保護を目的に出版された『中世フランス紀行』(Voyages Pittoresques et Romantiques dans l'ancienne France, 1820-78 全19巻)の試し刷りである可能性が判明したため、ルーヴル美術館を訪問し、同館図書室所蔵の『中世フランス紀行』掲載図版と照合し同定した。当該の石版画の中から79点を図版で紹介し、それらがロマン派の中世志向から生まれたことを述べた。「テイラー男爵の『中世フランス紀行』のうち「I 中世フランス紀行」(p.2~p.15)を執筆。「II テイラー男爵の生涯」を浅子啓子が執筆。
2. 佐伯祐三	単著	1997年11月	新潮社	佐伯祐三の生涯と作品について、この画家が滞在した千葉県御宿、オーヴェール＝シュル＝オーワーズ、さらに家族と生活したパリにおいて画家の足跡を訪ねて現地調査し、都市デザインと佐伯の空間表現の関係などを述べた。初期から晩年まで32点の作品を図版と作品解説で紹介した。さらに論文「この絵は、純粹ですか」(p.73~p.85)と年表(p.86p~p.93)を執筆。
3. 佐藤慶太郎伝ー東京府美術館を建てた石炭の神様	単著	2008年5月	石風社	1926年に上野公園に開館した東京府美術館(現東京都美術館)建設費100万円(現在の30数億円)を寄付した佐藤慶太郎の故郷九州若松での現地調査や本人と面識のあった人物達との面談調査を基に「公私一如」(財産は私有せず公共に戻すという信念)に基づく生涯を詳述した。本文、年表、参考文献を全334頁で執筆した。東京府美術館誕生の経緯や佐藤新興生活館(現山の上ホテルの建物)における生活改善運動についても述べ、佐藤慶太郎が社会貢献を生涯貫いたことを明らかにした。

4. いきいきホスピタル ー筑波大学が取り組 む病院のアートとデ ザイン	共著	2016年3月	筑波大学芸術系	2015年に筑波大学附属病院や英国ブ リストル・サウスミード病院等にお いて学生と教員が行なった病院ア ートプログラムについての解説と報 告。監修、齊藤泰嘉、貝島桃代。平 成27年度文化庁助成 [大学を活用し た文化芸術推進事業] 「適応的エキ スパート」としてのアートマネー ジメント人材の育成ー病院を活用した 多様空間・異分野協働によるアート マネージメント能力の向上に向けて ー」報告書
5. 筑波大学附属病院 アート&デザインの 歩み	共著	2024年3月	筑波大学附属病院	2012年に誕生した筑波大学附属病院 けやき棟におけるアート活動の歴史 について概要を述べた。2013年から 15年にかけては文化庁の助成金によ り実施した。医学と芸術の教員や学 生たちの共同作業により、ワーク ショップやコンサート、アーチス ト・イン・ホスピタルなどの事業が 実施され、附属病院における「医芸 連携」による療養環境の改善を試み た。全79頁。38頁～40頁執筆。著 者、原晃、新田智弘、松崎仰生、岩 田ゆかり、三ヶ田愛子、蓮見孝、齊 藤泰嘉
(学術論文(欧文)) 1.				
(学術論文(和文)) 1. 変貌する病院 ー療養環境改善に果 たすアートの役割ー	単著	2016年10月	一般社団法人日本医 療福祉建築協会「医 療福祉建築」2016年 10月号 No. 193	日本と世界で活発化する病院アート プログラムによる療養環境改善の現 状を筑波大学附属病院や英国、オ ーストラリアの医療施設現地調査に基 づいて述べ、病院アートプログラム の実施においてはアートコーディネ ーターの役割が重要であることを指摘 した。(p. 2~p. 5)
(紀要論文) 1. 第11回 現代茨城作 家美術展《現美展》 によせて	単著	2019年11月	現代茨城作家美術展 《現美展》図録 茨城県美術展覧会	第11回 現代茨城作家美術展《現美 展》巻頭論文。茨城県の美術の歴史 について芸術支援の観点から述べ、 その発展において飯村丈三郎(茨城 新聞社2代目社長)が大観、春草らの 五浦の苦闘時代を支えた創造支援の 重要性について指摘した。 (p. 8~p. 9)
2. 「菜香亭とフランス 洋食器ピリヴィ」	単著	2021年7月	『筑波経済月報』 筑波総研株式会社	明治の元勳井上馨が命名した料亭菜 香亭(山口市)において使用されて いたフランス製洋食器ピリヴィ並び に阿蘭陀焼ペトルス・レギーを東ア ジア近代化の歴史資料という視点か らとらえ、その歴史的価値を述べ た。(p. 22~p. 23)

3. 伊藤幾久造と霞ヶ浦の乙女	単著	2022年6月	『令和4年度特別展 挿絵画家の伊藤幾久造 第二のふるさとの霞ヶ浦地方』展図録 かすみがうら市歴史博物館	伊藤幾久造の描いた肉筆日本画《霞ヶ浦の乙女》(1945年)を土浦市内で発掘した際の経緯を中心に述べ、師の伊東深水の美人画代表作《指》(1922年)が江戸浮世絵系美人画であるのに対し、《霞ヶ浦の乙女》を農村系美人画と位置づけて両者を対比した。
(辞書・翻訳書等) 1.				
(報告書・会報等) 1.				
(国際学会発表) 1. The Open Museum of the Students, by the Students, for the Students. 2. “Changing Hospitals: The Role of Art in Improving Healing Environments” 「変貌する病院－芸術による療養環境の改善」 3. “When Ecomuseums Become Living Art History: Hokusai Katsushika and Namino-Ihachi ” 「美術史学習におけるエコミュージアムの活用－葛飾北斎と波の伊八－」	単独 単独 単独	2016年11月6日 2020年2月7日 2020年2月8日	2016University Museum & ICOM-ICOFOM/ ASPAC Joint Conference (National Cheng Kung University, Taiwan) National Cheng Kung University, Taiwan National Cheng Kung University, Taiwan	筑波大学学生会館ギャラリーや芸術系ギャラリーなどにおける学生参加型博物館活動に関する発表。台湾国立成功大学における大学博物館国際研討会と国際博物館協会博物館学委員会の合同大会における招待講演。英語で発表。 筑波大学附属病院や英国、オーストラリアの病院を事例とし、病院の療養環境改善に果たすアートとデザインの役割について発表。台湾国立成功大学における「先端的人材育成計画」における招待講演。英語で発表。 葛飾北斎の浮世絵版画《神奈川沖浪裏》の成立における波の伊八《波に宝珠》が果たした役割について発表。台湾国立成功大学における「先端的人材育成計画」における招待講演。英語で発表。
(国内学会発表) 1.				
(演奏会・展覧会等) 1.				

(招待講演・基調講演) 1.						
(受賞(学術賞等)) 1.						
研 究 活 動 項 目						
助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等 の別	種 類	採択年度	交付・ 受入元	交付・ 受入額	概 要
(科学研究費採択) 1.						
(競争的研究助成費獲得(科研費除く)) 1.						
(共同研究・受託研究受入れ) 1.						
(奨学・指定寄付金受入れ) 1.						
(学内課題研究(共同研究)) 1.						
(学内課題研究(各個研究)) 1.						
(知的財産(特許・実用新案等)) 1.						